夕刊 磐城新聞
十二月二十三日發行
發行所 磐城新聞社
(日曜祭日翌日休刊)

黑人とクリスマス

堤光泰

クリスマスを迎へるに當つて想はれるはアメリカの黑人のことだ。『黑人は治癒し得ざる程度に宗敎的である。』こんな妙な言ひ廻しが通用し得る程、左樣に彼等は宗敎的なのである。

二世紀半にも及ぶ奴隷生活が、どうして神なしに過されよう。彼等の地上の生活が、絶間ない十字架上の苦しみであつたとしたら、それが荆冠のキリストに通はぬ筈はない。スピリチュアルと稱する彼等の讃美歌が存在するのは當然である

入々はわが主を磔にせり
主は一言の吹きも
のたまはざりき
入々はわが主を磔にせり
主は一言の吹きも
のたまはざりき
一言も、一言も、一言も

これは彼等のスピリチュアル『基督十字架上の死』の冒頭の節だが、實際彼等の讃美歌は、オルガンの音に連れて、いとも朗かに流れ出る底の陽氣なものではない。カルヴアトンは言つてゐる『黑人にとつてのキリストは、日曜日には禮拜されれ、あとの六日間は忘れられてゐる樣な簡單な救世主ではない。』と。

正眞正銘、キリストは彼等種族の悩める魂の化身なのである。ネラ・ラーセンの小說『浮砂』の中に出て來る——

イエスはわが凡ての悩みを知りたまへり

これが眞實の彼等の聲である。いや／＼少くとも聲であつた。而るに、私はこの彼等の根深い宗敎心が徐々に、その一廓を崩されつゝあるのを認めないわけにはいかない。端的に言へば、キリストは、そして神は彼等の絶對の信用を失ひつゝあるのである。

——私は主なる白人のキリストにお尋ねする、祈りの甲斐は何であるかと——

これは、黑人詩人中のピカー、ラングストン・ヒューズの『黑き娘のための歌』の中の一句だが、變化でなくて、何であらう。次に同人の短詩『キリスト敎國』を引用しよう。

神樣は裏の路次で
ジン酒の瓶を手に
居眠りしてゐらつしやる
サア神樣
起きて、そして
人間のやうに
戰つて下さい。

これは單なる彼等の焦慮であらうか。勝手な我儘であらうか。私は彼等の凡てが、神に、そしてキリストに、見切りを付けたとは言はない。たゞ、少くとも彼等の宗敎心の異常な動搖は見逃せない。

一千二百萬の黑き兄弟姉妹、彼等は、このクリスマスに一体、どんな挨拶を交すことだらう。(了)

年の瀨

島田忠夫

○年の瀨のあはたゞしさに吾も入りてはかながりつゝ金のこと思ふ
○わが病妻もすこやけくなりてにひ年の晴着を欲しと思ひ居らむか
○ネオンサインのともる夜の巷べに年せまりたるを思ひ術なさ
○天さかり遠ゐる友を思へども行くこともなしせはしがりつゝ
○われの給のやうやく騷がるゝ時にして多く描けぬは寂しき
○年暮るゝ今に思へば現し世のもろ／＼のことあはたゞしかり

新年懸賞歌募集

一、題 氷、雪、
一人三首以內投稿(官製ハガキ使用のこと)
二、締切 十二月二十五日
三、發表 一月一日磐城新聞紙上
四、選者 小山田滋
五、賞品 一等(置時計)一名 二等(本紙三ケ月購讀券)二名 三等(本社メダル)三名 秀逸(本紙一ケ月購讀券)十名

磐城新聞社

時代警語

○君子は必ず自ら尊敬す……(サミュール、スマイル)

君子は仁德を以て神聖なりとして常に之を体認するが故に能く他人を待するに禮貌があり能く他人の過失を寬宥し能く他人の窮苦を悲恤するものである、故に他人にも必ず尊敬せらるるなり……

神秘な時(詩)

磯上六花

眞夜、……

拈華微笑

結局オウテ木非謝取りとなるらしい築港疑獄
◇
小櫻おどしの鎧巴、胡蝶の縫ひ

取り。疑獄のメイキヤップだ
◇
高木が故に錆からず、武士の風上に磨けぬ醜類
◇

不純な砂利の爲下積になり掛つた地元請負師辛じて助かる
◇
師走の八幡小路に風颯々

電燈はもうらうとした
俺の頭の中にも似て
ぼんやり光つて居る
………
規則正しいセコンドが
小さな部屋の空氣を震はせて居る
………
この破紋こそ
どこから訪れいづれへ流れ出すのか
誰も知る人はない
訪れる時は……
無限に廣い希望の世界になり
去り行く時は……
永遠に續く理知と反省の境となる
………
絕え間ないセコンドのメロデーは
果敢ない人生も
蔑視して過ぎ去る
更け行く夜と共に刻々として。

ブル娘の嘆き

前田勝江

混沌たる思潮の波に
自から目ざめたる者と呼び
若人の神聖なる戀愛を罪惡視し
エゴイズムなる判斷を下せる君よ！
……
ブルはブルだ！
プロはプロだ！
しかして戀愛は戀愛だ！
この妾の氣持をよもや君は知るまい
……
ブル娘の一言にて絕交せし君の心よ！
我れ尙御身を慕ふ
しかしなれど我は御身のかたくな氣持をにくむ。

學藝消息

◇五浦三味會冬季研究會 市川里川氏を會長とし、赤尾藤吉郎、伊藤貴麿、千葉省三、中山省三郎、山口隆一の諸氏を理事とする五浦三味會にては、來る昭和八年一月二日三日の兩日を、冬季研究會として、茨城縣多賀郡松原町高萩溫泉に開催、津川公治、島田忠夫、町山正利、岩淵得之介の諸氏を講師に委囑する。會費三圓、申込み茨城縣多賀郡大津町市原醫院內五浦三味會

社會の今日

12月24日

△俳人蕪村歿す(天明三) △高山樗牛歿す(明治三五) △南米激震死者百二十五名(昭和五) △各府縣部長異動 △來島海峽で八重山丸、關西丸と衝突し、三十餘名行衛不明となる △英米佛三國より我國に錦州不攻略を提議し來る(同六)

○

スケートや底無し沼も夏のこと　手古奈
歲晚や古き箪笥に事繁し　つゝじ

講談 お蘭陀お蝶 (215)

渡邊默禪 作　布施長春 畫

宗哲は人惡くさん／＼からかつてから自分の右の人差指を朝臣の鼻の先に持つて行つて、戌亥の方からぐるりと一廻轉して未申の方に立つてゐたお蝶の姿へヒたりと見當をつけた。

『えゝつ』

朝臣は喫驚したやうに肩を顫はして

『何を申す、怪しからぬ奴ぢや』

と苦笑したが、爭はれぬ證據は白玉の面にぼつと潮す紅。

『エツヘツヘ、怪しからぬとは若さまのこと、お隱し遊ばしますな、尊公のお胸はチヤンと此の照魔鏡で睨んで居りますぞ、イヤ、若さま、花も美しいが、その花に宿る蝶々も麗やかなもので第一花は物言はぬが是は口もきけば步行もする、に

イヤモウ今年五十三の此の爺々でさへ、ぞつとして風邪を引くゝらいだから、ましてお年若の尊公さまなどは大熱に魘されてウン／＼お唸りなさるも無理はない エート甚麼でございます。寧そのこと、ソレ今の下の句、音もかはらぬ白川の水におなりなされて、その花の花の姿を寫しなされては……なアに、御自分の物に遊ばすなんぞは雜作もないこと、一つ此の愚老が熱々の湯加減を茶柄杓で搦廻して、蘆屋釜へ首ッ丈の嬉しい濃茶にするやうに、茶筌の手捌きをなつめになけませうか、お任せなされ／＼！』

『宗哲そりや本當か』

朝臣はヂツと宗哲の顏を見詰めた。

『よくぞ察して呉れた。赤面の至りぢやが予は生來始めて箇樣な思ひを……宗哲これが戀とやらかのう』

燃え立つ血汐の眞紅の唇に頷なかせて息を喘ませて潤んだ瞳を輝かして熱心に悠う言はれた時は、流石の宗哲も何だか身の毛立つやうな思ひがした

『ユ、宜しうございます、恐老皃とが引受けました。ハクション、アハヽ、俺もかぶれたと見えて體が急にぞく／＼して來たわい』

× ×

此の時、お蝶は茫然と耶の上から曖道を眺めてゐた

『如何して悠う遲いのだらう。最うお出になりそうなものだが』

その心は龍馬の方へ飛ぶのであつた。

た宿の昭高院に戻つて又一泊といふことになつた。

宗哲はその晩與平の家を訪ねて、朝臣からいろ／＼と有難いお言葉のあつた事を話し、先づ與平の心を動かして置いて、それからお蝶のことに切込み、浮橋のお館へ奉公させる氣はないかあるなら周旋しやうと言出した。

宗哲はなか／＼の能辯家である、その口前に實意をませて巧みに說きつけられては一途に有難い辱けないと思ひ詰めて居る與平のこと、可厭でもホロリと落ちざるを得なかつた、否與平は兎に角、今度は不思議にお蝶の方が乘氣になつた

た目と鼻の間な何時でも親に逢へるか此の上もない便利だとの理由の下にお爺さん參りませう、と來た。

その『參りませう』には深い秘密があつた、深いのではない單純な野心『懷しいお方の顏を見られる』それだけの思が潜んでゐたのに與平も宗哲も知らなかつた、懷しいのが出來た事さへアイドントノーであつた！。

ラヂオ

…二十四日(土曜)…
仙臺 JOHK

△前七、〇〇A 八、〇〇 ラヂオ體操
△九、〇〇 氣象
△九、一〇H 料理獻立 日用品値段
△一〇、三〇A 家庭講座(どなたにも活けられるお正月花の活け方) 押川如水
△正午 時報 氣象
△後〇、〇五R 俚謠(一、土佐大津繪 二、室戶節 三、土佐音頭ぞめき)
△〇、二〇U 胡弓と尺八
△〇、四〇A ニュース 告知事項
△二、〇〇A 婦人講座(日本婦人とその社會的活動 現代婦人の行くべき道) 文學博士中村孝也
△三、四〇 氣象
△四、〇〇 ニュース
△五、〇〇A 受驗講座(英文和譯) 佐川春水
△六、〇〇 講演(萬國婦人と子供博覽會の主旨)
△六、二〇 コドモのシンブン 村岡花子
△六、二五 英語講座(中等・科) 增田綱
△六、五五 カレント、トピツクス ハロルド、パーマー
△七、〇〇A ニュース 氣象
△七、三〇A クリスマスの夕 一、ごあいさつ
△七、三五A 二、讃美歌合唱
△七、五〇R 三、お話
△八、一五A 四、クリスマス、カロル
△八、三〇A 五、ラヂオドラマ
△九、〇〇 六、管絃樂
△九、三〇A 時報
△九、三一A 滿洲より ニュース 氣象

純國產單式縫 めいりんの— サミエル手ミシン
能率優秀、機械堅牢、價格低廉
小型 七圓七拾錢
大型 拾貳圓
カタログ郵券貳錢封入左記へ御照會下さい
特約代理店 四倉驛前 白川一森
(販賣外交希望の方至急御來談をこふ)

金銀高價買入
質札は(金時計、鎖、指輪類)有利に御相談致します
平町二丁目(三幸堂跡)
根本時計店
電話六〇七番

修理部新設
記念◎二割引特賣
期間…十二月十五日ヨリ一月十五日マデ
伸好堂選セントラル萬年筆
ハーモニー式……一、五〇錢ヨリ
標準型……一、〇〇錢ヨリ
御買求めに絕好のチヤンス
豐富な品より御氣に召す御選定を……！
才槌小路
伸好堂書店
電(呼)五三八番

移轉御披露
各位益々御清適奉賀候、今回御贔負樣の御勸めにより三好家向の新築家屋に移轉致し清潔と勉强をモツトーとして營業致候間舊に倍し御引立を仰ぎ度奉懇願候也。
料理店 平町新田町廿六
壽遊亭主
電三九一

開業廣告
外科 全般科 內科 小兒科
醫學博士 渡部義夫
女醫 渡部きい子
平町田町大通
渡部外科
電話二七七
(入院應需)

歲末奉仕大賣出し
平素の御愛顧に酬ゆる謝恩奉仕大特價提供
二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日の五日間

破格奉仕品

實用毛靴下(三足)	六十錢
純ヒコットンシャツ	一圓
最上メリヤスシャツ	八十錢
上等メリヤスズボン下	四十錢六十錢
純毛糸上等チヨツキ	一圓
本ネルワイシャツ	二圓五十錢
純毛婦人シャツ	一圓
純毛糸都腰卷	七十五錢
パンヤ二ツ折お枕	一圓
毛糸子供手袋	十錢
ラシヤベレー帽子	四十錢
奉仕白キヤラコ足袋	十錢
奉仕女別珍足袋	十錢

㊣ より良くより安き
中野洋品店
平町二丁目 電五三番

けふ知事以下を迎へ 蠶業取締所の店開き
來賓二百五十名出席の盛況

蠶業取締平支所の開所式は今二十三日午前十一時から平陽女學校講堂に開催、赤木知事を始め重田蠶糸課長萬石、永井兩技手外三百五十名出席、目黒所長の開辭に始まり赤木知事の左記告辭中島監督制事其他來賓の祝辭あつて閉會後工事功勞者色川勝三郎氏を表彰し正午過ぎ式を閉ぢた

式辭要領

本日玆に蠶業取締支所開所の式典を擧ぐるに當り貴賓各位の御來臨を辱ふいたしましたことは本官の最欣幸とする所であります。惟ふに生絲は本邦輸出品の大宗でありまして之れあるが爲に國際貿易の清算も立ち行くものであると存じます、恰も生絲は我國の生命と申しましても決して過言でないと信じますと共に蠶絲業が如何に重大な責を負つてゐるかを窺ひ知ることが出來るのであります。古來本縣の蠶絲業は東北六縣の首席であり亦全國屈指の蠶業地でありまして範を廣く四國に垂れ克く全國を指導もし且内は農村の繁榮に將縣經濟の發達に寄與貢獻し來つた點は極めて大きいものがあるのでありますが最近に於ては動もすれば後進地に一籌を輸するが如き感がないでもないかと思はるゝのであります從つて今後當業者各位に於かれては更に一段の大奮闘努力を拂はれんことを衷心から要望して止まざる次第であります。由來蠶業取締支所は單なる蠶絲業法施行機關に過ぎなかつたのでありますが先年郡役所が廢止されて以來蠶絲業上各般の奬勵指導の事務をも合せ行ふことになり、今日としては全く地方蠶絲業の中樞機關として頗る重要な任務を擔當してゐるのであります。縣は最に石城郡内に於ける蠶絲業の重要性に鑑み支所を平町に設置するの必要を認めまして夫々準備を進め本年十一月一日を以て當支所を開設するに到つたのであります、當業者諸氏には宜しく縣の意のある所を躰し當支所と十分に連絡協調を圖られ、以て斯業の改良進展に對し遺算なきを期せられんことを切に望む次第であります。次に職を當支所に奉ずる者は常に克く所定の方針に從ひ獻身的の努力を拂ひ、以て其の使命の全きを期し縣民の要望は勿論縣が當支所を設置するに至つた本來の目的に副はんことを深く望む次第であります。終りに望み當支所設置に關しまして多大の御援力を與へられました福島縣町村長會石城支會、石城郡養蠶業組合當支所管内關係町村及有志として同樣に援助を與へられました各位に對し此の席より深厚なる謝意を表する次第であります

蠶業取締久濱支所に移轉説

蠶業取締平支所の新設に伴ひ管轄區域が一郡一所に變更された爲双葉郡の南端に偏在してゐる久の濱支所の富岡町移轉説が起り漸次有力となりつゝある

恩賜金に霑ふ貧兒
二小學で八十數名を救ふ

平町三小學校では昨二十二日恩賜金二百四十七圓の分配に關し各教員が八十數名の貧困家庭を訪問して夫々諒解を求め帽子、足袋其他學用品、被服を買ひ與へたが何れも粥を啜り飢を凌いでゐる階級な丈け大喜びである

。。。。。小名濱町會 二十五日午前九時から開催、小學校舍敷地擴張、基本財產運用の二件を附議する

一と景氣を齎らす 炭鑛のボーナス
磐炭廿九日、入山は大晦日

各炭鑛のボーナスは單り當の本人を有頂天にさせる許りで無く、其の餘波は平町の各方面にも一と景氣を齎すものとして各種各樣の意味から待望されてゐるが約四百名の役員と三千有餘の從業員を擁する磐炭は二十九日、入山では三十一日支給する事となり一般關係者から樂しみ待たれてゐる

磐城洋灰ボーナス

四倉磐城セメント株式會社工業所の年末賞與は去る廿二日役員職工に給與せられた

年賀郵激增
局員目を廻す

平郵便局の年賀郵便は引續き増加の一路を辿り斷然新記錄を出すのではないかと期待されてゐるが昨二十二日は六千五百五十三通で昨年より三十割七分の増加である

小名濱町年末救濟

小名濱町の年末貧困者救濟基金を募集は二十一日締切つたが現金二十五圓、衣類四百五十點、白米四斗入四俵を得たので一兩日中方法を協議の上分配すると

石城葱東京進出
各町村農會の販賣統制

郡下生產の葱は毎年出廻季になると供給過剩から價額が暴落し農家は常に欠損を續けて居るので郡農會では各町村農會と協力之が販賣統制を研究の結果昨二十二日第一回の試として神谷夏井村農會聯合で八噸一車を帝國農會の東京販賣斡旋所へ出荷し之の成績如何により大量の出荷をなすべく情報を待つてゐる

高久の山火
小兒の弄火が立木七畝歩を燒く

平町大工町鈴木米松所有高久村神谷作地內山林から昨二十二日午後二時頃發火約二百坪を全燒して同三時鎭火した、原因同字農鈴木榮吉長男平太郎(五)假名―外一名の弄火、損害約三百圓

鮫川水利總會

鮫川普通水利組合では二十六日午前十時から平國体事務所に臨時總會を開催、左記諸件を附議する

一、組合規定改正 二、常設委員設置規程設定 三、臨時委員設置規程設定 四、堰用水排水幹線改良工事請負 五、組合起債及償還方法 六、農業水利改良費負擔金繼續年期支出方法變更 七、歳入歳出追加更生豫算

古物商も手を出さぬ
二束三文の差押へ物件に 手を焼く税務出張所

縣税務平出張所に於ける本年度前期分滯納二百十五名三百二圓に對する差押へ物件の公賣は昨二十二日同所で行つたが物件は何れも疊戸、籾等三文の値打なく古物商も呆れて空しく引き上げて了つたので係官もホト〳〵閉口し對策を考究中である

築港疑獄愈々伸展し けふ主任技師を喚問
醜狀白日下に暴露されん

最近地方人士の耳目を聳動せしめてゐる小名濱築港の怪聞は同町ブローカー高木武士(三六)の召喚取り調べにより今や伸つ引きならぬ材料が擧つたものの如く豫て兎角の風評あつた築港所長內務省仙台土木出張所技師樗木篤夫氏は今廿三日早朝平署保住高等、安藤司法兩部長及柏木刑事の三名に同行されて平署に入り高橋司法主任から嚴重なる取り調べを受けつゝあり、根が高等官三等の高官に關する事件丈けに極度の注意を以て成り行きを刮目されてゐる

年迫る 世は朗かなり! チンドン屋
斷然宣傳の王座を誇る 超ユーモラス

……(T)……

△ ▽

飛び交ふ雲足も何となく慌だしい容合。馬、人、車——等々が櫛の齒を挽く如く往來する急テンポになつた師走の街頭を——淡いガソリンの香りを漂はせて乘合自動車が行き過ぎた後から聞ゆるジャズ。バンド(?)の楷調……。

▽ △

鉦に太鼓、ヒョツトコ面に顔を被つて、昔三韓征伐時代の扮裝をしたチンドン屋さんだ。腰から手ぶりから、ユーモラスな曲線の律動を見せ乍ら車馬の往來絶ゆる時ない街を街をと縫ひ歩いて居る……。

▽ △

斷然愉快な街頭行進ジャズだ。が鉦の音に足をチと踏んでドンと太鼓の音を出す迄には容易ならざる修業がいるとな、そして此のジャズ。バンドを帝都の一流どこでも招聘するもんには汽車賃、食費をもつて何う値切つても一日、七、八圓になると言つたら安月給取りなんか心境に變化を來さざるを得ないだらう。

▽ △

錯綜したウヰンドの裝飾意匠を凝らしたメーキ・アップの靜的宣傳より、このチンドン屋こそ廣告宣傳界の王座に飛び上り師走の街頭に効果百パーセントの活躍を續けてゐる。

……◇……

(玲光生)

よくも盗んだり 辨當四十餘個
刑餘の男檢擧さる

今二十三日午前三時頃平驛待合室に擧動不審な男あるを平署員が引致取調べると右は當時住所不定無職宮城縣名取郡玉浦村寺島濱里八六生れ窃盗前科二犯武田清太郎(三三)で今月一日六ケ月の服役を了え福島刑務所を出所後平町に流れ込み三小學校敎室から兒童の辨當四十餘個を窃取した外十三日夜第三校宿直室から現金一圓二十錢、十四日に八十錢十六日十五丁目武田三郎方から金側時計(價格五十圓)紺屋町鈴木果物店から自轉車一台を窃取した外平町を中心に荒し廻つた事を自白し引續き取り調べ中

。。。。。四倉軍人歡送迎

四倉町在鄕軍人分會主催の入營兵並に滿期除隊兵歡送迎會は來一月元旦同町小學校に於て開催すると

拳大の石を揮ひ 內妻の顔面を碎く
殺人未遂で七年求刑

双葉郡上岡村元岡日雇吉田榮治(五〇)が去る十月十九日午後四時頃內妻堀川スズ(四五)を石塊を以て毆打負傷せしめた殺人未遂事件の公判は昨二十二日午後二時から平支部に於て中島裁判長係、關口、竹內兩判事陪席、上田檢事關與、安齋官選辯護士立會開廷した被害者スズは男から男へと飛び石傳ひに榮治と結婚する迄に七人の亭主を持ち換へた程の勝氣な女で榮治とも二年來別居中兇行當日スズの義兄北崎勝造方の法事席上榮治は他人の面前でスズから散々惡罵されたのを憤り同人の歸途を追ひ字中平の山中に於て酒の勢で他の男との情交關係及先きの惡罵を詰らんとした處口實を作つて逃げ出したのに嚇となり七十四匁の石塊で同人の顔面を毆打し夥しい出血に驚き自宅に舞ひ戻り自殺せんと刺身抱丁を所持し深谷一善方に赴き逮捕されたが殺害する考へはなく又深谷方でスズを殺害したと言はなかつた旨を述べ檢事は當時警官に對する申し立てにより殺意を認め又スズは之が爲顔面が醜くなり生きた屍となるに至つたとて懲役七年を求刑した、言渡しは二十七日

死亡率は一日一人强
平町今年の過去帳登錄

平町一月以降の死亡者は計四百十九名で內火葬二百四十九名、埋葬百二十四名この外姙婦死亡者四十六名で一月平均三十四名に及んでゐる

。。。。。不埒の家出女房

平窪村鯨岡籠製造業松崎寅吉妻ヤス(四三)は年甲斐も無く去月中子供四名と不具の亭主を捨て情夫伊藤某と駈落したので殘された寅吉は年上の子二人を奉公に出し目下九才と六才の子供と三人暮しで糊口を凌ぎつつあり近隣から非常に同情されて居る

略式命令三百五十件
關係者が九百餘名

平區裁判所に於ける一月以降現在に至る略式命令は三百四十八件九百餘名に及び換刑者も十六名で昨年に比較して何れも[illegible]してゐる

平署年末警戒

平署では昨二十二日から一週間の犯罪豫防週間を期し年末非常警戒をなすと

磐中人國記 三
赤井嶽男記
磐中騷動後日譚 當時通學生の面々

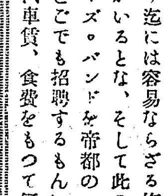
對人的の各論は後に詳記するが當時地元の通學生としては、松本孫右衛門さんの親類で最に內鄕村の三星炭鑛に勤めいまでは平の執達吏役場に居る一年志願の步兵少尉大原博氏(双葉郡浪江町)、それから平迄から通つて居た大和田省吾氏(東京市役所勤務)醫學博士八木澤文吾氏、北大の土木實科を出て先年來台灣で活躍してゐる松崎松之助氏(赤井)早稻田を出て統計局の屬官などを勤め其後帝國興信所員に轉身した平舊藩の牧原修雄氏(東京々橋區木挽町現住)飯野村出身で明治生命にゐる一年志願の步年少尉國府田知二氏(山形縣酒田町現住)箕輪の之亦步兵少尉阿部友睦氏、大浦出身仙台醫專卒業の大屋(舊姓愛川)幾八氏(桐生市開業)豫備海軍大佐で浦賀船渠の技師をしてゐる鈴木春五郎氏(內郷出身逗子町現住)千葉醫專を出て天逝した當時の入山坑務所事務長たりし石川權介氏の男士氣夫氏、それに前記津輕敎諭の書生をし乍ら卒業後工學敎員養成所を出て三和炭鑛の社員になつたが何かの行き違ひから山氣冷かな中寺の奥深く鞦韆往生を遂げた田代宗三郎氏(勿來町)台灣國語學校を出乍ら惜くも鬼籍に上つた渡邊喜藤治氏(草野村)等。等があつたのは別に問題でないとしてその中に溫厚篤實な鹽屋の若主人在鄕軍人石城聯合分會長山崎清三氏(早大卒業)平町南町の松村病院長徹郎氏、舊姓古市で今は木村となつてゐる新川町の木村病院長木村寅次郎氏(大浦村)之亦お醫者さんで平町役場跡に堂々の門戸を張つてゐる醫學士淸水廣政氏、國學院を出て母校磐中に敎鞭を執つてゐる廣田德行氏(平町)なども居り、其等が當時盛んにチームワークをとつて揚土學園の一大ストームに恐るべき低氣壓を作つたんだから愉快ではないか。

△物騷な報告頻々

四年生の行動は刻々尖鋭化した。下手人は分らぬが研町の荒木敎諭宅に石を投げ込んだものがある——昨夜は中學校の坂道で刑事と組み打ちして溝ん中へ叩き込まれた人がある——、斯うした物騷なレポートの入る毎に全四年生の血は極度に沸騰した。校長彈劾の一矢は將に强弩を放れやうとして嵐の前の息づまるやうな緊張が暫時續いた。さて其の次に什麽事が持ち上つたか?。(寫眞は人國記に追憶を辿る山崎淸三氏)

平支部判決

內鄕村小島字川崎居住十七犯金成寬七(五七)は通貨僞造未遂で懲役五年(求刑十年)列車往來妨害勿來町四澤秋元道政(三二)は五年(求刑六年)鯉淵秋之助(二七)は二年執行猶豫三年(求刑三年)。今二十三日平々部で言渡しあつた



舊十一月廿七日 己未 先勝 危 女宿
土曜 新十二月廿四日

諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 勞苦織發の兆あれど氣を落さず分を守れ▲二黑の人 善惡吉凶も無く平凡なる日新計畫は控へよ▲三碧の人 信用を落さぬ樣身を愼しみ交りを結ぶが吉▲四綠の人 ぎ心暗鬼を生じ萬事手遲れとなる傾向あり▲五黃の人 輕擧を愼しみ遠慮深謀の計畫は漸進すべし▲六白の人 滿身力を込め張詰めしゆづるの矢は遠きに達す▲七赤の人 口先で利を謀れば後難あり力を以て進む吉▲八白の人 苦心する程の功は擧らず家業の衰微を防げ▲九紫の人 發展の勢は有れど才能に誇りてすきを生ぜん

お招露目

品澤から半玉の蝶々(一四)が出た。婆つばさんの小さくない目で監督され、みつちり踊りを仕込まれるので前途の大成を期待されてゐる

毎度御ひいき有難ふ御座ゐます。
うなぎ御用命は
うなぎ 奴
平町田町(電話二二一番)
ホール御座敷の設備あります。皆樣の御立寄を!

吸入用酸素 純度 99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
◎秤ノ取締・修繕・糸掛致シマス
開內藥局 電話四〇番

人は武士…花は櫻よ かをりは梅よ……
うなぎ料理は江戸川よ
うなぎに御用の節は!
是非專門の……
江戸川へ
平町二丁目 電話五四七

良品廉賣に勝る商略なし
金物問屋 和洋銅物
磐城セメント特約代理店
(久) 釜屋商店
磐城國平町五丁目 電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり